

農・工のものづくり回廊を支える 浜松三ヶ日・豊橋道路

Vol.
8

◆会長就任あいさつ

浜松三ヶ日・豊橋道路建設促進期成同盟会 会長
豊橋商工会議所 会頭 神野吾郎

この度、吉川一弘前会長の後任として、本同盟会会長に就任いたしました神野吾郎です。

愛知県東部の東三河と静岡県西部の遠州からなる三遠地域の持続的な発展に欠かせない「浜松三ヶ日・豊橋道路」が一日も早く実現されるよう、ご関係者の皆様方とともに手を携えて尽力してまいりますので、ご理解ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

三遠地域を南北に結ぶ「浜松三ヶ日・豊橋道路」は、三河港を起点に三遠南信自動車道と接続することで、遠州から南信州までを結びつけ地域間の物流機能を最大限に引き出し、企業活動のパフォーマンス向上を支えます。加えて沿線の各地域が育んできた産業特性と強みの融合化が促進されることで、新産業の創出や産業の高度化が図られ、三遠地域が持つポテンシャルが存分に発揮されることにつながります。

さらに、近年は「浜松三ヶ日・豊橋道路」にかかる期待として、生活の安全安心、防災力向上を含めた持続的な地域の発展を望む側面も大きくなっております。

三遠地域から渥美半島を経て伊勢志摩へとつながる、新たな国土軸を形成する「浜松三ヶ日・豊橋道路」は、地域や産業の枠組みを越えた連携・交流を促進し、地域のポテンシャルを引き上げる新しい価値創造をもたらすものとして、私どもは地域及び官民が一体となり、その必要性を力強く関係機関に訴えてまいりたいと存じます。



浜松三ヶ日・豊橋道路とは

東名・新東名、国道1号、名豊道路の東西軸を南北に連結し、かつ、沿岸部から中山間部への連携を強化するため、三遠南信自動車道と名豊道路(国道23号バイパス)を接続する南北方向の幹線道路。同道路の整備により、産業経済、地域連携、防災・災害対応に大きな効果が期待されます。

浜松三ヶ日・豊橋道路建設促進期成同盟会

県境を越えた三遠地域の行政、商工会議所・商工会、農業協同組合の26団体(構成員名簿は本紙最終ページに記載)が一体となって、国への要望活動をはじめあらゆる手段を講じてその建設実現に向け取り組んでいます。本紙は当同盟会の機関紙として、同盟会の活動内容と同道路にまつわる最新情報をお伝えしてまいります。

◆麻生財務大臣、石井国土交通大臣へ地域の実情を説明



麻生財務大臣と意見交換する要望者の皆さん

浜松三ヶ日・豊橋道路建設促進期成同盟会は、第3次安倍内閣発足後、2回目の内閣改造が行われた直後の平成28年8月4日(木)、留任が決まったばかりの麻生太郎財務大臣、石井啓一国土交通大臣らを訪れ、同道路の早期実現を要望しました。

要望活動には、同盟会から吉川会長(当時)、佐原光一豊橋市長、山下政良田原市長らが参加したのに加え、根本幸典衆議院議員、城内実衆議院議員、藤川政人参議院議員、伊藤渉衆議院議員、太田房江参議院議員が応援に駆けつけました。

麻生財務大臣は「まずは国土交通省で計画

立案してもらおうこと。その時は応援していきたい」と今後の活動に期待を寄せました。石井国土交通大臣は「農業、工業とも盛んで日本有数の地域だということがよく理解できた。地域の物流を円滑にする道路だと思う」と事業化に向け現在進めている国の調査を速やかにまとめたいと今後の進め方について意見を述べました。

●三遠地域の新たな連携軸調査



国土交通省の補助を受け愛知県、静岡県、浜松市が、平成20年度から5カ年かけ、「新たな連携軸の提案を行うこと」を目的に「三遠地域連携支援調査」を実施しました。地域連携、産業、生活、医療、防災の5つの観点から三遠地域の状況を調べ、ここで抽出された課題の解決や政策目標を実現するための道路として「浜松三ヶ日・豊橋道路」という新たな連携軸が必要であるとしました。

平成26年度からは、国土交通省が「静岡・愛知県境における道路ネットワークのあり方」調査において、将来の交通需要や物流・産業拠点の立地を踏まえた広域物流交通等の実態調査を行い、広域的な視点からの調査に取り組んでいます。

また、平成27年度からは、愛知県、静岡県、浜松市により、「三遠地域の新たな連携軸調査」が開始されており、「新たな連携軸」の具体化に向けての課題整理や概ねのルート的位置、道路の規格などについて検討が進められています。

◆国県連携により早期の事業着手を期待

浜松三ヶ日・豊橋道路建設促進期成同盟会は、平成28年7月25日(月)、静岡市葵区にある静岡県庁を訪れ、難波喬司静岡県副知事に愛知県との連携を強化し同道路の早期実現に向けた取り組みを要望しました。

続いて8月10日(水)には名古屋市中区にある愛知県公館と国土交通省中部地方整備局を訪れ、大村愛知県知事と塚原浩一中部地方整備局長に同道路の早期事業化を要望しました。

難波静岡県副知事は「改めて三遠地域のポテンシャルの高さに驚いている。今まで浜松三ヶ日・豊橋道路がなかったのが不思議に思う。大事な道路だと思うので静岡県としても尽力していきたい」と述べました。

大村愛知県知事は「本年度はルートの概略企画を行うなど国の調査と連携しながら具体化に向けた検討を進めていきたい」と調査の進捗状況を説明しました。

塚原中部地方整備局長は「愛知・静岡両県や地元と連携して調査を進めており、一日も早く事業化できるようにしたい。地域の皆さんと色々と協力して進めていきたい」と沿線地域の協力を求めました。



難波静岡県副知事(手前左)に要望書を手渡す吉川会長(当時)

●浜松三ヶ日・豊橋道路が図解で早わかり！ ～パンフレットをリニューアルしました～



浜松三ヶ日・豊橋道路の早期実現に向け、国等への要望活動に活用しているパンフレットをリニューアルしました。掲載している統計データや図表などを最新のものに更新するとともに、必要性を訴える三遠地域の企業の声や現在国等により進められている地域実態調査(2頁下段記事参照)の進捗状況を掲載しています。

地域の実態、道路の必要性ををビジュアルで解説

浜松三ヶ日・豊橋道路 沿線地域の声

●●● (公財)浜松観光コンベンションビューロー ●●●

▼ 組織概要紹介

公益財団法人浜松観光コンベンションビューローは、浜松市及びその周辺地域の有する文化的・社会的・経済的優位性を生かし、国内外からの観光客及びコンベンションの誘致等を行うことにより、観光・コンベンションの振興を図り、地域経済の活性化や国際相互理解の増進、文化の向上に寄与することを目的に設立されました。

コンベンション事業では、国内外からの会議、大会などのコンベンションを誘致するとともに、充実した開催支援によりコンベンションを成功へと導いています。また、観光振興においては、平成26年より国土交通大臣の「浜名湖観光圏」認定を受け、浜名湖観光圏整備推進事業を観光振興事業の核と位置付け、当地域の観光地としてのブランド確立を目指しています。

▼ 観光圏とは？

自治体の枠を超え、官民一体で取り組む観光地域づくりです。浜名湖観光圏は、浜松市、湖西市の両市がその区域となります。浜名湖観光圏のブランド・コ

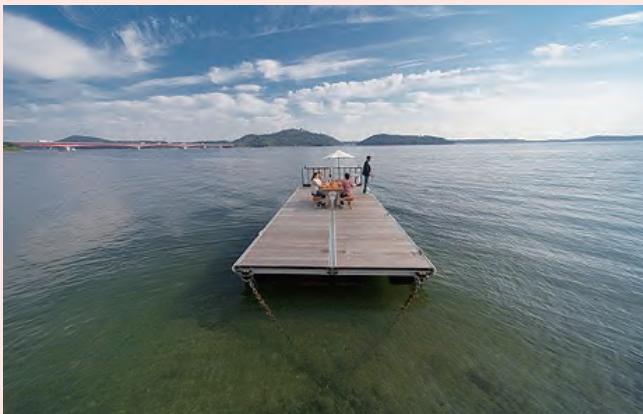
ンセプトは、「海の湖」。このブランド・コンセプトに基づき、事業推進を図っています。なお、全国では、北海道から九州まで13の観光圏が認定されています。

▼ さらに今年の大河ドラマの舞台は浜松

今年の大河ドラマ「おんな城主 直虎」の舞台は、浜松。地域一丸となって、皆さまに楽しんでいただけますよう、おもてなしをいたします。どうぞお越しください。

▼ 浜松三ヶ日・豊橋道路への期待

観光における地域間競争は、ますます激しさを増しています。そこで、今後、観光資源・観光拠点が点在している地域間を有機的に結びつけ、周遊性・回遊性を高めていくことが極めて重要となってきます。現在、北部山間部と南部沿岸部を結ぶ幹線道路ネットワークは、決して十分とは言えず、交流人口の増大、地域の活性化等を図る上で、浜松・三ヶ日豊橋道路には、大きな期待を寄せています。



浜名湖観光圏
ブランド・コンセプト「海の湖」～浜名湖からはじまる新たな物語～



遠州の古刹・井伊直虎が眠る井伊家の菩提寺 龍潭寺

発行：浜松三ヶ日・豊橋道路建設促進期成同盟会

浜松市・湖西市・豊橋市・新城市・田原市・設楽町・東栄町・豊根村
浜松商工会議所・奥浜名湖商工会・浜名商工会・新居町商工会・湖西市商工会
豊橋商工会議所・新城市商工会・設楽町商工会
東栄町商工会・津具商工会・豊根村商工会・田原市商工会・渥美商工会
とびお浜松農業協同組合・三ヶ日町農業協同組合
豊橋農業協同組合・愛知みなみ農業協同組合・愛知東農業協同組合（順不同）

事務局：豊橋商工会議所 〒440-8508 愛知県豊橋市花田町字石塚 42-1 TEL 0532-53-7211
URL <http://www.toyohashi-cci.or.jp/mikkabi/index.html>